



Virage development

私共のショップでは欧州の所謂「クラシック」を主に扱っています。「クラシック」とはただ年数を経た結果そう呼ばれるのではなく、数十年を経ても尚、色褪せるどころか更に魅力を増していくものを指します。

クラシックに憧れはあるものの、信頼性やメンテナンスに不安がある方が殆どでしょう。有名店でメンテナンスを受けたところで数十年前の基準に近づくだけであり、現代基準の信頼性には程遠いものです。

私達はクラシックの姿形と DNA はそのままに、各部に現代の技術を投入し、デイリーユースに応えることが出来る自動車を提供します。例えば「メカニックの悪魔」と揶揄された80年代のマセラティに信頼性を与え、快適な自動車に変身させることも可能です。

なぜこのようなことが可能なのか？それは現代の技術ではそれが当たり前だからです。特に日本の基準では、壊れないのが当たり前なのです。「古い車だから」と我慢を強いられることなく気楽に毎日乗れる車をプロデュースすることが、現代の技術を投入することにより可能なのです。



最新技術によるアップデート

一度は息絶えてしまったそれらの機関が再び息を吹き返し蘇る様を目の当たりにすると、何度も経験していても今だに心を動かされます。

当社では数十年前のそれらの機関を O/H するときにも、当時はなかった最新の技術を用いて見えない部分のアップデートを施します。

今の時代、ノーマルのまま組みなおしたとしても当時の新品よりも良いものが出来て当たり前と考えています。また、電気周りなどは日本の技術が最先端であり、これらの技術をクラシックに投入し「壊れないクラシック」を造り上げることが可能です。欧米の名立たるクラシック専門業者でさえこの部分では詰めが甘いように感じています。

日本の技術力を存分に活用して「Made in Japan」を日本国内だけでなく、欧米や中東そしてアジアの新興国に向けてアピールします。



Virage development ヴィラージュ デヴェロップメント

業務内容

欧州クラシックカー販売、
整備・車両レストア及びカスタム

Service

車両レストア及びカスタム

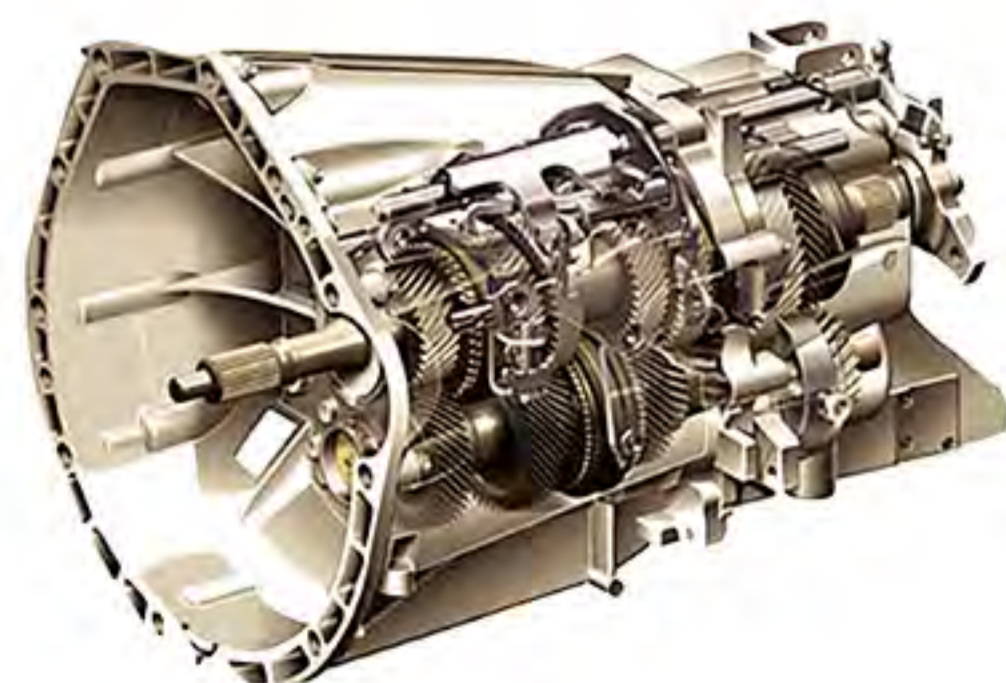
オリジナルに忠実に修復するレストア作業でも、世界中のネットワークを用いて、部品やマニュアル、資料などの入手を得意としています。もちろん最早手に入らない部品等に関してはレプリカの作製が可能です。

当社で言う「カスタム」とは、主に機関や装備を指すものであり、外観を大きく変えてしまうようなものではありません。外観が変わったとしても誰が見ても違和感の無いように仕上げるものです。



Discorsi 1973/Matru/Mockel.com

トランスミッション



トランスミッション O/H

例えば80年代までのフェラーリのように「温まるまで2速に入りづらい」という現象は「伝統」だの「それを乗り越えてこそカッコいい」だのと言われてきましたが、それはただ 当時の工作精度が低だけのことです。もちろんそれらも現代の技術を用いることにより改善、もしくは解消されます。

トランスミッション スワップ (年式の古い車に新しい世代のトランスミッション搭載)

3速ATを4速もしくは5速ATに換装したり、4速MTを5速もしくは6速MTへの換装を行っています。もちろん、ATからMTへの換装も可能です。

エンジン

エンジン O/H

ノーマルのまま組みなおすとしても、内部には最新の技術を導入します。フリクション・ロスの低減や部品の耐久性に大きな効果があります。ひいてはそれらが燃費の向上や排ガスの浄化に繋がります。今や当たり前の技術を古い機械に投入するだけのことです。もちろん、パワーアップや特定の用途(レーシング・エンジン)に合わせたO/Hにも対応します。

エンジン スワップ (年式の古い車に新しい世代のエンジン搭載)

よく行われる手法です。エンジンはメーカーのDNAのようなものです。当ショップでこれを行う場合、他のメーカーのものは決して使いません。エンジンをスワップして機能させることはもちろんですが、エンジンルーム内の整合性を取り違和感の無いものに仕上げることを重視しています。

燃料供給システム

BOSCH MFI O/H

ボッシュ社製のメカニカル・フューエル・インジェクションのO/Hです。



BOSCH K,KE Jetronic O/H

ボッシュ社製燃料供給装置のO/Hです。日本国内では当社が唯一の存在と言っても過言ではありません。70年代から90年代にかけてメルセデス、ポルシェ、フェラーリ、ロールス、ベントレー、ランボルギーニなどに採用されたシステムです。全国のショップ様、ディーラー様からO/Hのご依頼があります。



エンジンマネージメント

電子制御と一口に言っても30年前と今の技術は比較になりません。「ブロック崩し」と「グランツーリスモ」位の差があります。今や様々なシステムがありますが、当ショップは MoTeC を選択します。モータースポーツにおける輝かしい栄光と歴史に裏付けされた性能と処理スピード。そして何よりもハードとしての耐久性は他を圧倒します。



もちろん、このシステムを利用してエンジンマネージメントのアップデートを施し、耐久性とパフォーマンスの向上及び、メンテナンスフリー化を実現します。古い電子制御システムのアップデートから、キャブレターを電子制御化することも可能です。これにより、いつでもどこでも誰でも「一発始動」が可能です。



電気周りのリフレッシュ

30年前の電線がどの位のロスを発生させているか想像できる方は少ないように思います。電線やリレー、フューズボックスの劣化だけでなく、現代の視点からすれば、そもそも電気回路の設計自体が間違っているものも多く診られます。

これらの再設計と引き直し作業は膨大な時間と労力及びセンスを要する上に、作業が終わると殆ど全てが隠れてしまうため業界としてはあまり好んで行われる作業ではありませんでした。

「メカニックは電気が苦手」という背景も大いに影響したことでしょう。が、当ショップでは何を差し置いてもこの作業を優先すべきだと考えます。



いくら機関をO/Hしようが、基本の電気が綺麗に流れていない限り本調子にならないことを知っているからです。

電線は云わば「血管」です。人体に当てはめてみれば、それが意味するところがお分かりでしょう。



pisaphotography/Shutterstock.com

エアコンシステムの開発、施工及び販売

当たり前ですが、当時のエアコンのシステムは今の基準からすれば「全くお話にならない」レベルのものです。効率が悪く、負担が大きく、重く、スペースも必要とする上に故障も多い。これらを最新の日本の技術と素材を用いて再構築します。

「夏が来るとガスを足す」というような儀式はもうありません。かつて長いホースであった部分（このホース部分からのガス漏れが多かった）は殆どがアルミ製の配管に取って代わり、今やクラッシュでもしない限りガス漏れることは稀です。



コンプレッサーも省エネ高効率化を実現し「効きが弱い」などというシステムは最早存在しません。これらの電装品は今やヨーロッパの自動車メーカーも殆どが日本製をライン装着しています。この部分の技術において、日本のそれを凌ぐものは地球上にありません。都心の真夏の渋滞に嵌っても、しっかりと効く快適なシステムを構築することは可能です。

電動パワーステアリングシステムの開発、取り付け及び販売



オランダ EZ EPS 日本代理店

今の若い方はあまり体験されたことがないのかもしれませんが、重いステアリングは車に乗る気が萎えてしまいます。特にご年配のクラシックのオーナー様にとっては切実な問題です。欧米で好評を博しているオランダ EZ Electric Power Steering 社の日本代理店を務めています。外観を損ねることなく、ダッシュボードの下に全て収まるシステムは今後も需要が増えていくことでしょう。

EZ Electric Power Steering 日本語サイト

<http://ezpowersteering.jp/>

クラシックカーパーツ販売



クラシックの本場はヨーロッパです。当ショップでは外国語に対応できるスタッフが在籍しており、世界中からレアなパーツの入手が可能です。

世界中を探しても見つからない希少な車種の場合は、パーツから作ることも可能です。

DinoParts
und Service GmbH

ドイツ Dino Parts 日本代理店

フェラーリ・ディノに特化したドイツ Dino Parts の日本代理店を務めています。現代の基準で造られたレプリカやアップデートパーツは世界中のDinoオーナー達に評価されています。